

## 科学読み物講座

科学の本を、  
もっとたのしもう！

講師：増本 裕江

（『日本は世界で何番目？4』などの著者）

今回は、講師に増本先生をお迎えし、科学読み物講座を開催しました。実行委員3名で企画や進行について検討を重ね、2回の実行委員会を経て準備を進めました。



## 1 科学の本って？

おはなしの本に対して科学・知識の本を「科学読み物」と言います。お話の本だけれど科学的要素の強い本も入れることもあります。

本屋に行くと、一般書の「科学」のコーナーは限られた人のところというイメージがあるかと思いますが、写真も絵もいい本が多く、読みやすいように様々な工夫がされているので、是非、立ち寄って実際に手にとってみてください。

## 2 どんな時に使うか？選ぶ基準は？

お話会や学校の朝の時間の読み聞かせに科学の本を使いたいという声が多いのですが『かがくのともシリーズ』の『ふきのとう』『つくし』『ひがばな』はその季節に使う定番となっているのではないのでしょうか？今は、いろいろなシリーズが出ています。

選ぶ基準としては、間違いがなくわかりやすいこと、新しい発見があり、それまで定説

が覆ったときに改訂されるといいですね。

## 3 読み聞かせやブックトークをするとき

リストから本を選んだあとに、必ず丹念に本に目をとおして絵や写真がよく見えるような工夫も必要です。

私の場合、読み聞かせでは本文を読むのが一般的です。途中、子どもから質問があったらかいつまんで説明し、また本文に戻ります。紹介だけにとどめる本もあります。

また、幼児から小学校低学年、高学年から中学生向けの本は多いのですが、中学年向けは少ないので探すのに苦労しますね。

## 4 科学の本は苦手！？

知るって、やはり楽しいし、感動すらすることも。どんなに短い記述でも、その本しか書かれていないことがあり、その記述を必要としている子ども（大人も）がいます。

また、科学の本のテーマはいろいろ。例えば、恐竜の本を求める子どもには、適切な恐竜の本を手渡せるように、大人もそのテーマの本を知っておいてほしい。

3・11以降、科学を知らないではすまされないと思われた方も多いのではないのでしょうか。先にも触れましたが、科学の本は出版年に注意してほしい。初版で誤りがあった場合に、改訂版や2刷以降修正しますので、その点も注意が必要です。原理など不変的なもの、また定番の本で古い資料で使えるものもたくさんあります。しかし、写真や印刷など技術の進歩はめざましいものがあります。また、教科書が改訂されたときも追随して、新しい本がでます。

## 4 リストの本紹介

これからの時期に使えるのは、たんぼぼが飛んでいく様子が印象深い『たんぼぼ』（甲斐信枝作・絵 金の星社）と地面の下に深く張る根っこの絵がインパクトある『たんぼぼ』

(平山和子文・絵 福音館書店)の2冊です。内容は甲乙つけがたいので、あとはお好みです。さらに、昨年、観察日記のようで丹念な絵の『たんぼぼ』(荒井真紀文・絵 金の星社)が出ました。同じ著者で『アサガオ』も出ています。

科学の本は写真が本当にきれいです。孢子という点からは初めてかなと思われる『きのこ』(埴沙萌写真・文 ポプラ社)は目をみはるものがあります。

あかね書房から出ている『科学のアルバム かがやくいのちシリーズ』は鮮明な写真と詳しい説明でお勧めです。

身近な生き物だけれど、意外に本がなかった『ずら〜レイモムシ ならべてみると…』(アリス館)も面白いです。この本を含めてシリーズは5冊でています。

表紙の雰囲気とは裏腹に情報量が多く、『アリのくらしに大接近』(丸山宗利文 島田拓写真 あかね書房)、同時に『アリの巣のお客さん』(あかね書房)という本も出ています。

読み物タイプですが、低学年から高学年まで幅広く使える『シロナガスクジラより大きいものっているの?』『こんなしっぽでなにをするの?』(評論社)があります。これは、年代問わず子どもたちの興味をひくようですね。

昆虫のことをわかりやすく書かれた本として紹介するのが、『昆虫のこと 自然スケッチ 絵本館』(キャスリン・シル文 玉川大学出版部)です。アメリカの元教員の夫婦が書いたもので、小学3年の理科の昆虫の導入にも使えます

今の時期の読み聞かせとして紹介したいのは、『しもばしら』(野坂勇作さく 福音館書店)と『しもばしら』(細島雅代写真 岩崎書店)です。前者は、おはなし形式でしもばしらのでき方を実験しながら説明しています。後者は、定点観測をしながら撮影したもので、美しい写真で様々なしもばしらを見ることが

できます。2冊とも、人工的にしもばしらを作る方法が載っています。

また、『雪の結晶ノート』(マーク・カッシーノ作 あすなろ書房)ですが、大人が補足しながら子どもと読める本です。合わせて、大人向けの雪の結晶の美しい写真集も紹介してもいいですね。

ほかに、「虫の冬越し」の本を紹介してよいと思います。『ふゆのむしとり?!』(はたこうしろう作 ほるぷ出版)、『ふゆのむしにいたくて』(宮武頼夫文 福音館書店)、『テントウムシのいちねん 月刊かがくのとも529号』(澤口たまみ文 福音館書店)などです。

科学読み物を紹介する本として、『科学の本 っておもしろい 2003-2009』(科学読物研究会編 連合出版)、『本から自然へ 自然から本へ』(京都科学読物研究会編 連合出版)などがあります。少し古くなってきてはいますが、参考にしていただきたいです。



読み聞かせで大事なことは本を紹介することで、盛り上がるとか子どもの反応をそれほど気にしなくてもよいのではと思います。その場で反応がなくても、子どもの記憶に残っていることは多々あり、あとの体験でよみがえることもあります。

とにかくリストだけで判断せずに、実際に本を開いてほしい、また、図書館に行かれたら、図書館員と「もうよんだ？」など生で情報交換しながら、図書館員とのコミュニケーションを密にとって、いろいろな本を楽しんでいただければと思います。

(記録 小林幸子)

\*本文中で紹介した本のほかに、当日の資料として本を紹介したリストを配布しました。

リスト中で書名を1字下げている本は、ブックトークなどで利用してほしい本です。(読み聞かせには量が多いため)

植物	ふきのとう	甲斐信枝	福音館書店	2004	
	つくし	甲斐信枝	福音館書店	1997	
	たんぽぽ	甲斐信枝	金の星社	1984	
	たんぽぽ	平山和子	福音館書店	1992	
	あさがお	荒井真紀	金の星社	2011	
	ひがなばな	甲斐信枝	福音館書店	1977	
	すみれとあり	矢間芳子	福音館書店	2002	
	ふゆめがっしょうだん	長 新太	福音館書店	1986	
	オナモミのとげ	多田多恵子	偕成社	2008	
	セコイア	ジェイソン チン	福音館書店	2011	
	世界の不思議な植物	湯浅浩史	誠文堂新光社	2008	
	キノコ	きのこ ふわり胞子の舞	埴沙萌	ポプラ社	2011
	昆虫	おとしぶみ	岡島秀治	福音館書店	1987
せみとりめいじん		かみやしん	福音館書店	2001	
セミたちの夏		筒井 学	小学館	2012	
カマキリの生き方		筒井 学	小学館	2013	
だれだかわかるかい？むしのかお		今森光彦	福音館書店	1995	
かぶとむしはどこ？		松岡達英	福音館書店	1990	
わたし、くわがた		得田之久	福音館書店	2011	
やぶかのはなし		栗林毅	福音館書店	1994	
よるになると		松岡達英	福音館書店	2015	
むしとりにいこうよ！		はたこうしろう	ほるぷ出版	2013	
あわふきむし		藤丸篤夫	そうえん社	2015	
ずら～りイモムシ ならべてみると…		高岡昌江	アリス館	2012	
カ ヤブカの一生		高嶋清明	あかね書房	2014	
アリのくらしに大接近		丸山宗利	あかね書房	2015	
カマキリ		今森光彦	アリス館	2003	
生きもの		シロナガスクジラより大きいものっているの？	ロバート・E. ウエルズ	評論社	1999
		ベッドのしたにはなにがある？	マイク・マニング	評論社	1999
	こんなしっほでなにをするの？	ステーブ・ジェンキンズ	評論社	2007	
	<自然スケッチ絵本館>	キャスリン・シル	玉川大学出版部	2010～	
	ホネホネ絵本	ステーブ・ジェンキンズ	あすなろ書房	2010	
	ホネホネたんけんたい	松田素子	アリス館	2008	
	ちきゅうがウンチだらけにならないわけ	松岡たつひで	福音館書店	2013	
	ちいさなちいさな めにみえないびせいぶつのせかい	ニコラ・デイビス	ゴブリン書房	2014	
	海のひかり	モリー・バンク	評論社	2014	
	ミジンコ	森文俊	あかね書房	2014	
	おちばのしたをのぞいてみたら…	皆越ようせい	ポプラ社	2000	
	ダンゴムシみつけたよ	皆越ようせい	ポプラ社	2002	
	ぼく、だんごむし	得田之久	福音館書店	2005	
	ミミズのふしぎ	皆越ようせい	ポプラ社	2004	
	クモのいと	新開 孝	ポプラ社	2009	
	まちぼうけの生態学	遠藤知二	福音館書店	2015	
	ぼくの先生は東京湾	中村征夫	フレーベル館	2015	
	ガンバレ!!まけるな!!ナメクジくん	三輪 一雄	偕成社	2004	
	カタツムリの謎	野島智司	誠文堂新光社	2015	
	さかなだってねむるんです	伊藤勝敏	ポプラ社	2015	
	ハリセンボンがふくらんだ	鈴木克美	あかね書房	2008	
	カクレクマノミは大きいぼうがお母さん	鈴木克美	あかね書房	2010	
	クラゲゆらゆら	楚山いさむ	ポプラ社	2008	
	クラゲすいぞくかん	村上龍男	ほるぷ出版	2015	
	ヘビのひみつ	内山りゆう	ポプラ社	2009	
	ずら～りカエル ならべてみると…	松橋利光	アリス館	2002	
	イボイボガエル ヒキガエル	三輪 一雄	偕成社	2005	
	鳥の巣みつけた	鈴木まもる	あすなろ書房	2002	
	かあさんふくろう	イーデス・サッチャー・ハード	偕成社	2012	
	空を飛ばない鳥たち	上田恵介	誠文堂新光社	2015	
	ぼくんちのゴリ	笠野裕一	福音館書店	2011	
	まちのコウモリ	中川雄三	ポプラ社	2007	
	キタキツネのおとうさん	竹田津実	福音館書店	2013	
	<ナショナルジオグラフィック動物大せっきん>		ほるぷ出版	2012	
	イヌ カウ コドモ	金森美智子	童話屋	2013	
	イヌとネコの体の不思議	齊藤勝司	誠文堂新光社	2013	

自然	みずたまレンズ	今森光彦	福音館書店	2008
	おかしなゆきふしぎなこおり	片平 孝	ポプラ社	2012
	あしたのてんきははれ?くもり?あめ?	野坂勇作	福音館書店	1997
	しもばしら	野坂勇作	福音館書店	2004
	しもばしら	細島雅代	岩崎書店	2014
	雪の結晶ノート	マーク・カッシーノ	あすなろ書房	2009
恐竜ほか	とりになったきょうりゅうのはなし	大島英太郎	福音館書店	2010
	のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト	三輪一雄	偕成社	2006
	<恐竜研究室>	ヒサクニヒコ	あかね書房	2012
宇宙	ぼくのいまいるところ	かこさとし	童心社	1988
	太陽	フランクリン・M. プランリー	小峰書店	2005
	月のかがく	渡部潤一	旬報社	2011
	もしも宇宙でくらしたら	山本省三	WAVE出版	2013
人の体	かさぶたくん	やぎゆうげんいちろう	福音館書店	2000
	ほね	堀内誠一	福音館書店	1981
	からだのみなさん	五味太郎	福音館書店	2005
	てのひらおんどけい	浜口哲一	福音館書店	2009
食べもの	バナナ	斉藤雅緒	フレーベル館	2007
	まめ	平山和子	福音館書店	1981
	ぴーなっつ なんきんまめ らっかせい	こうやすすむ	福音館書店	1993
	どっかんだいこん	いわさゆうこ	童心社	2012
	つやっつやなす	いわさゆうこ	童心社	2012
	みかんのひみつ	岩間史郎	ひさかたチャイルド	2007
	干し柿	西村豊	あかね書房	2006
	やさいはいきている	岩間史朗	ひさかたチャイルド	2007
	ごたっ子の田んぼ	西村豊	アリス館	2014
	ポップコーンをつくらうよ	トミー・デ・パオラ	光村教育図書	2004
	うちは精肉店	本橋成一	農村漁村文化協会	2013
	見てびっくり野菜の植物学	盛口満	少年写真新聞社	2012
	ぼくのマメ図鑑	盛口満	岩崎書店	2015
	伝記	雪の写真家ベントレー	ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン	BL出版
風をつかまえたウィリアム		ウィリアム・カムクワンバ	さ・え・ら書房	2012
あたまにつまった石ころが		キャロル・オーティス・ハースト	光村教育図書	2002
パパが宇宙をみせてくれた		ウルフ・スタルク	BL出版	2000
よかたい先生		三枝三七子	学研教育出版	2014
科学あそび	まほうのコップ	藤田千枝	福音館書店	2012
	まほうのわ	折井英治	大日本図書	1987
	つくってみよう かみがくるくる	玉田泰太郎	童心社	1989
	空気のふしぎあそび	立花愛子	偕成社	2015
	きれいなさんかく	安野光雅	福音館書店	1981
	30倍の世界	板倉聖宜	仮説社	2014
リストほか	新・科学の本っておもしろい2003-2009年	科学読物研究会	連合出版	2010
	本から自然へ自然から本へ	京都科学読み物研究会	連合出版	2008
	センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン	新潮社	1996
災害	大津波のあとの生きものたち	永幡嘉之	少年写真新聞社	2015
	地震と火山	鎌田浩毅	学研プラス	2014